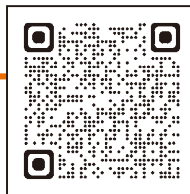




稲塚利夫 議員

▼動画はこちら



ヤングケアラーの把握と支援について

関係機関との連携を強化し把握に努めている(町長)

問 当町のヤングケアラーとされる方は、10人(3世帯)と伺っている。ヤングケアラーは潜在化もあり、アウトリーチによる取り組みが重要であるが、当町の相談体制と支援体制は。

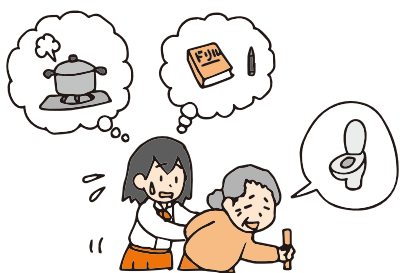
答 町長

子ども家庭課に相談窓口を設けているが、直接窓口への相談は無く、学校、関係部局との連携や近隣からの情報でヤングケアラーと思われる家庭に訪問相談を行い、その家庭の状況により養育支援訪問事業などを実施している。

問 現在、「川越町 大きく羽ばたけ基金」は、川越中学校の生徒が部活動で全国大会等に出場する場合に交付されているが、これに加え、本人が進学を望むが家庭の経済的な理由から進学が難しい場合に、当町の独自施策として入学一時金を支給できるようこの基金条例を改正したらどうか。

答 教育長

ご指摘の基金は、川越中学校の生徒が部活動として参加する東海大会、全国大会、これに準ずる大会等に出場し、大きく羽ばたいていこうとするのに際し交付するため設置したものであり、積立増額を行い、ヤングケアラーに関しての支援等として活用することは考えていない。



防災体制の強化は

組織についても検討しながら進める(町長)

問 本年6月議会での質問から半年が経過するが、当町の最重要課題である避難者(災害の種類・状況により約3,200人)5,900人の受入先は三泗地区1市3町の広域避難に関する会議でどのように検討されたのか。

答 町長

他市町との調整が必要なため、具体的な受入先となる避難場所は決まっていない。非常に重要課題であり、粘り強く、早急に解決できるように進めていきたい。

町内で新たな病児保育の予定は

現在、実施に向け協議を進めている(町長)

問 町内で新たな病児保育が行われる予定はあるのか。

答 町長

町内の医療機関より病児保育を実施したい旨の申し出があり、その実施に向けて協議を進めている。

答 町長

引き続きこの体制で県や消防とも連携を取りつつ迅速な防災業務を進めるとともに、組織についても検討しながら進めたい。



朝日町の高台から見たゼロメートル地帯の広がる川越町(北部)